



## VEYRON TUBE BV1001T/VEYRON MOSFET BV1001M

Ultra-Compact 2000 W Class-D Bass Amplifier with Tube Preamp,  
Optical Compressor and DYNAMIZER Technology

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

**限定保証**

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。

## 重要な注意事項



次の事項の確認を怠ると、アンプリファイヤーやラウドスピーカーの損傷の結果となる場合があります。この用な場合による損傷は、保証の対象外となります。

- ラウドスピーカーが正しいインピーダンスであること。適切な出力ソケットが使われていることを確認してください。
- アンプとラウドスピーカーの接続には、必ずラウドスピーカー用のケーブルを使用してください。楽器用のケーブルやマイクロフォン用のケーブルは使わないでください。

**ご使用前に**

この製品は輸送時の安全のために組み立て工場では注意深く梱包されています。ボール紙の箱の状態に損傷が見られる場合は、機器をすぐ調べて、物理的な損傷がないかどうか確認してください。

- 機器が損傷していた場合は、弊社に直接送らないでください。すぐに機器を入手した販売店と配達した運送業者に知らせてください。それ以外の場合は、すべての交換/修理の要求が無効になる場合があります。
- 保管と運送による損傷を防止するため、つねにオリジナルの梱包を使用してください。
- 子供から目を離し、機器またはパッケージで遊ばせないでください。
- すべてのパッケージ部材は環境的に適切な方法で処分してください。
- 十分な通風を確保してください。オーバーヒートを避けるため、温熱機をそばで使用しないでください。
- すべての機器が適切にグランド接続されていることを確認してください。グランド接続用の導体を機器や電源ケーブルから外さないでください。機器は常時コンセントの安全用のグランド接続に接続されている必要があります。

**設置上の重要な注意事項**

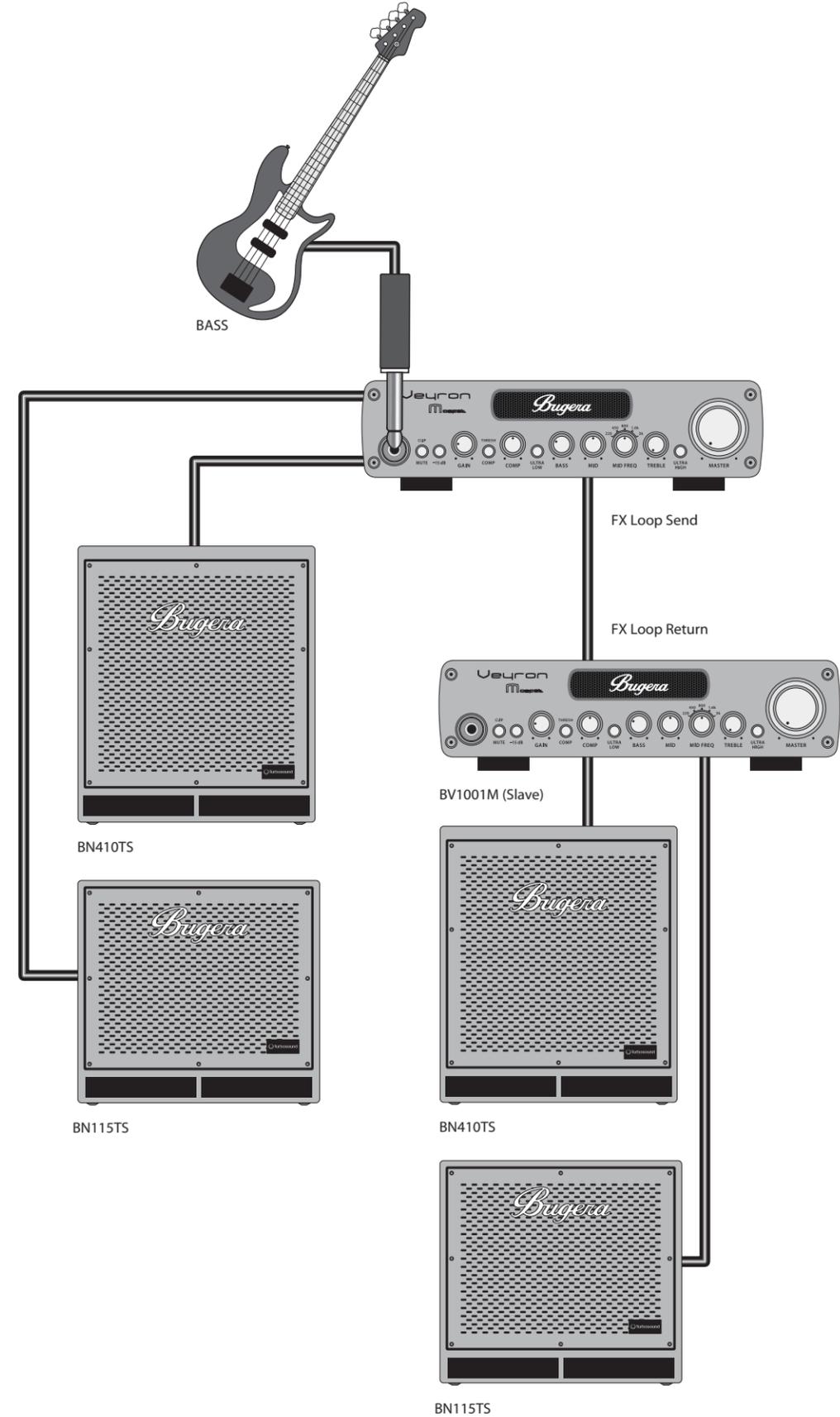
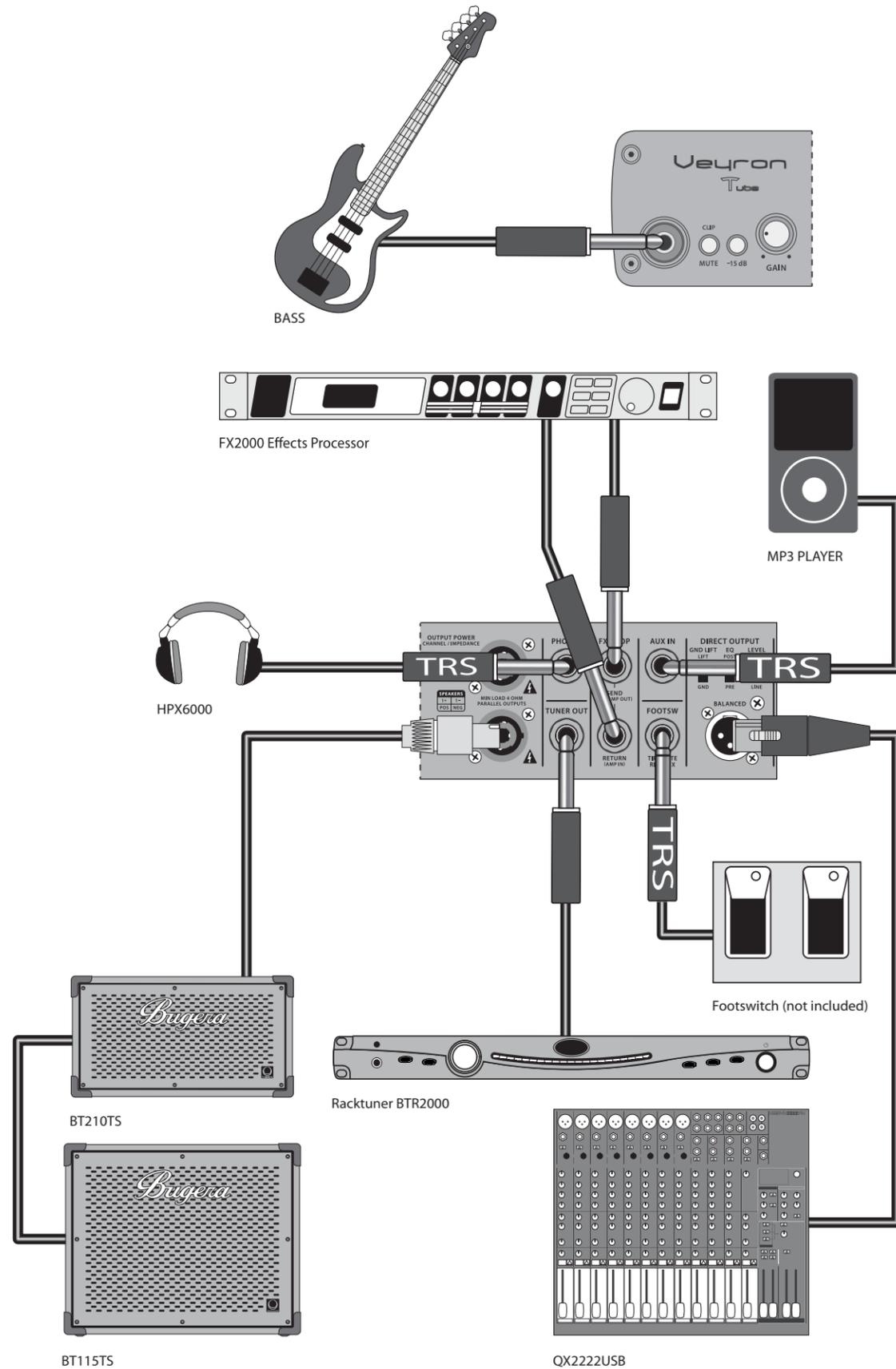
- 強力な放送電波や高周波の発信源の影響により、音質が損なわれる場合があります。トランスミッターと機器との距離を離したり、すべての接続にシールドされたケーブルを使ってください。

# VEYRON TUBE BV1001T/VEYRON MOSFET BV1001M フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

基本の接続方法

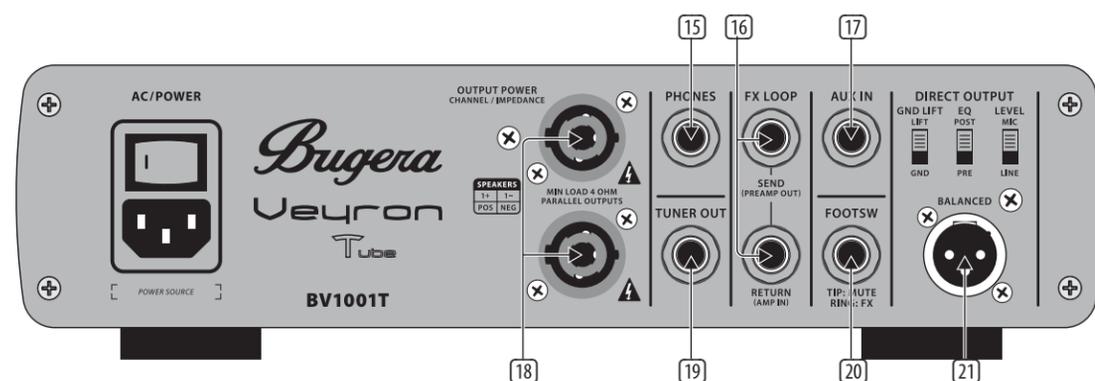
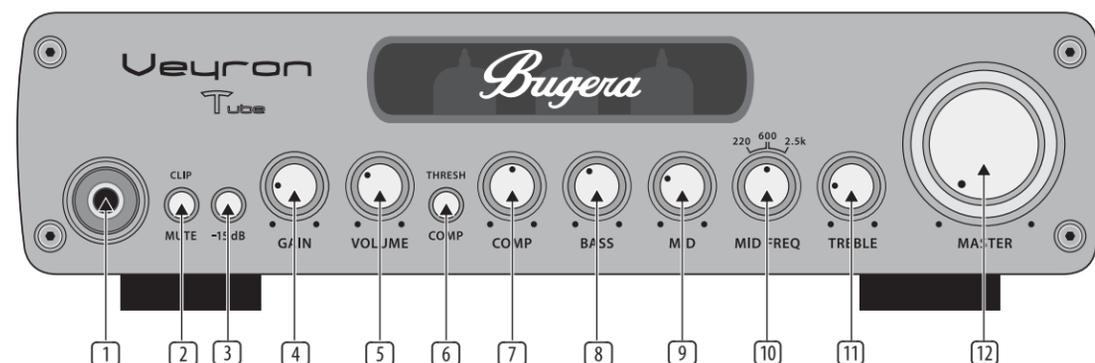
デュアル・スタック



## VEYRON TUBE BV1001T/VEYRON MOSFET BV1001M コントロール

JP

## ステップ 2: コントロール



1. **INPUT** - ¼ インチ・アンバランス・ケーブルでベースを接続します。
2. **MUTE** - サイレント・チューニングまたはベースを替える際、アンプ出力をミュートします。入力ジャックでクリッピングが起これば、ボタン周囲の LED が点灯します。
3. **-15 dB** - アクティブ・ピックアップを使用する際、入力ジャックの感度を下げます。リダクションの有効時は、ボタン周囲の LED が点灯します。
4. **GAIN** ノブは、プリアンプ レベルの量を調整します。
5. **VOLUME** ノブ (BV1001T のみ) - ゲイン・ノブからの信号をブーストします。エフェクト・ループ・SEND (FX LOOP SEND) ジャックのレベルにも影響します。
6. **COMP** ボタンは圧縮効果を有効にします。ボタンの周囲の LED リングは、演奏のピーク時に点灯し、信号が圧縮されていることを示します。
7. **COMP** ノブは、内蔵コンプレッサーの圧縮量を調整します。
8. **BASS** ノブはトーンの低域を調整します。
9. **MID** - 中域を調節します。
10. **MID FREQ** - 中域ノブで調節する、中心となる周波数を選択します。
11. **TREBLE** - 音色の高域を調節します。
12. **MASTER** - アンプリファァ全体の出力を調節します。
13. **ULTRA LOW** ボタン (BV1001M のみ) - 音色の固定低域周波数をブーストします。
14. **ULTRA HIGH** ボタン (BV1001M のみ) - 音色のさらに高域をブーストします。
15. **PHONES** (フォン) ジャックには、ヘッドフォンを ¼ インチ・ステレオケーブルで接続できます。例: 練習時、アンプにスピーカーを接続せずに、ヘッドフォンを使用するなど。
16. **FX LOOP** ジャックを使用すると、プリアンプの後、電源セクションの前にエフェクト プロセッサを接続できます。SEND ジャックを使用して、プリアンプの信号を別のアンプに渡すこともできます。
17. **AUX IN** - ¼ インチ・ケーブルで MP3 プレイヤーを接続して、バックトラックとして利用し、セッションできます。
18. **SPEAKER OUTPUT** - プロ仕様ロックンク・コネクターを使用して、ベース・キャビネットを接続します。
19. **TUNER OUT** - 外部チューナーに信号を送信します。ミュート機能が働いている間も、本ジャックは有効です。
20. **FOOTSW(itch)** - フットスイッチを接続し、ミュートおよびエフェクト・ループのオン/オフをおこないます。
21. **DIRECT OUTPUT** - XLR ケーブルでミキサーまたはインターフェイスと接続し、プリアンプ信号を送信します。3つのスイッチで、グラウンド・リフト、プリ/ポスト EQ、マイク/ライン・レベルの切り替えをおこないます。

## 技術仕様

	BV1001T	BV1001M
<b>オーディオ入力</b>		
機器入力	¼" TS ジャック、アンバランス	
インピーダンス	1 MΩ	
FXループリターン	¼" TS ジャック、アンバランス	
インピーダンス (DI出力がEQの前後の場合)	20 kΩ/9 kΩ	
補助入力	¼" TRS ジャック、アンバランス	
インピーダンス	10 kΩ	
<b>オーディオ出力</b>		
電話をかける	¼" TRS ジャック、アンバランス	
インピーダンス	180 Ω	
チューナーアウト	¼" TS ジャック、アンバランス	
インピーダンス	500 Ω	
FXループ送信	¼" TS ジャック、アンバランス	
インピーダンス	1 kΩ	
直接出力	XLR ジャック、バランス	
インピーダンス	1 kΩ	
最大 レベルマイク/ライン	プレ EQ (-9 dBu / +12 dBu)、ポスト EQ (-12 dBu / +9 dBu)	
スピーカー出力	2 x ロッキングコネクタ	
最小 負荷インピーダンス	4 Ω	
<b>システムデータ</b>		
プリアンプ管	3 x 12AX7	—
最大出力電力	2000 W ピーク	
<b>主電源電圧</b>		
ヨーロッパ/イギリス/オーストラリア/ 中国/韓国	220-240 V~50/60 Hz	
アメリカ/カナダ/日本	100-120 V~50/60 Hz	
消費電力 @ 最大電力 1/8	110 W	
主電源接続	標準 IEC レセプタクル	
<b>物理的</b>		
寸法	293 x 279 x 80 mm (11.5 x 10.9 x 3")	
重量	3.2 kg (7.0 lbs)	3.0 kg (6.6 lbs)

## その他の重要な情報

### JP その他の重要な情報

#### 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

**2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

**3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

*Bugera*